



障害者雇用

飯塚 悦男

問 障害者の法定雇用率は、来年4月から統合失調症などの精神障害者も加わり0・2%引き上げられるがどうか。

市長 障害者がごく普通に、地域で暮らし、地域の一員として生活できる社会の実現に向けて取り組む第一歩であると評価しています。

問 引き上げることでも市役所の法定雇用率に影響はあるのか。

総務部長 現在雇用数は満たしています。また改正されても満たしています。

問 市の雇用は、知的障害者や身体障害者、精神障害者の割合における厚生労働省の指針はあるのか。

総務部長 全体として何%を確保する内容の通知があります。

農業と福祉の連携を推進

問 農業の働き手がいらない、福祉の働く場所がないという問題を解決し、補完するのが農福連携がどうか。

市長 働き手がいらない、働く場所がないことをマッチングさせることが大事です。双方が連携するこ

とで解決を図る動きが広がっているのではないかと思います。

問 愛知県豊明市では、農業で障害者の就労を支援する民間企業を誘致し、障害者雇用につなげている。岩沼市も誘致を検討してはどうか。

市長 基本的には人材派遣がベースの会社ですが、障害者就労支援のサービスも行い、これが自治体で受け入れている事実がありますので、もう少し勉強したいと思います。

問 宮城県でも障害者雇用率の改善に力を入れている。この取り組みの一環として、知事は障害者雇用に熱心に取り組む企業を訪問し激励している。市長も企業等に働きかけるべきではないか。

市長 市内企業の皆さんと懇談する機会がありますので働きかけたと思います。



市道の改修

酒井 信幸

問 復興工事で土を運搬する周辺の市道や市内の車道が、路面におとつ等が見られる。定期点検はどのように行っているのか。

建設部長 点検は市内全域を6つのブロックに分けて、1ブロックごと毎週月曜日に行っています。

問 市ホームページに「道路の危険箇所を見つけたら連絡を下さい」とあるが、一年間に市民からの通報は何件あったのか。

建設部長 昨年度は110件ありました。状況を確認して危険箇所から順次補修しています。

問 以前、市長は、「震災関連の土砂運搬により傷んだ市道の補修について、復興事業完了後に市が舗装・補修を考えていますが、多額の費用が掛かりますので、復興交付金の対象事業に認めてもらうよう他市町村と要望を行っていきませう」とあったが、その後どのようなになったのか。

建設部長 復興事業により生じた道路の補修に対し、復興交付金が交付されることになりましたので、来年度から申請を行うよう考えて

います。

危険な歩道の早期改修を

問 二木大通線（市道岩沼中央線から国道4号まで）の歩道のおうとつや側溝との段差がひどい状態である。また、点字ブロックが剥がれている箇所が多く見られる。非常に危険であるので、早急に改修すべきと思うがどうか。

土木課長 本年度に計画を策定していますので、点字ブロックを含め順次改修を行いたいと考えています。

問 市長は常に「市民が安全で安心して暮らせるまちづくり」と話しているが、市民が安全安心に歩けるまちづくりのためにも、早急な改修を行うべきと思うがどうか。

市長 早速に現場を確認して、必要ならばすぐに補修したいと思います。

◎その他の一般質問

・運転免許証の自主返納者に対する支援
・SNSを活用したいはじめなどの相談システムの構築